

## 地域密着型金融の取組みについて

当金庫は、地域経済の発展・繁栄に貢献するため「中小企業の支援・育成」、「地域のお客さまの利便性向上」を目標に取り組んでおります。

今後とも地域に根ざす金融機関として、会員・お客さまとの絆を大切に、社会的責任を果たしながら、地域に必要とされる金融機関を目指してまいります。

地域密着型金融の取組み状況を取りまとめましたので、ご案内させていただきます。

### 令和3年度「地域密着型金融」の推進状況について

#### ◇令和3年度における取組み項目

##### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

###### (1) 創業・新事業支援

○地公体、信用保証協会、地元金融機関との連携および融資の強化

###### (2) 経営改善支援

○既往取引先への経営改善・事業再生支援・販路開拓支援

###### (3) 事業再生支援

○中小企業再生支援協議会等の外部機関・専門家との連携強化

###### (4) 事業承継支援

○コンサルティング業務、M&A業務の推進

##### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

###### (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

○シンジケートローン等の活用

○金庫プロパー無担保商品、信用保証協会制度融資の推進

###### (2) 目利き機能の発揮に向けた取組み

○外部研修等への職員派遣、金庫内研修の実施によるスキルアップ

##### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

###### (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み

○ビジネスマッチングの推進

###### (2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

○PFI事業の取組み

○金融教育への取組み

○相談苦情処理機能の強化

## 令和3年度「地域密着型金融」推進状況について

令和3年度における地域密着型金融推進につきましては、①中小企業の経営改善支援に向けた取組み、②健全性確保、収益性向上に向けた取組みを基本に、中小企業の再生と持続可能性の確保を図るため、地域のお取引先の支援・再生に積極的に取り組んでまいりました。

今後ともお客さまとの親密な関係を継続し、お客さまの繁栄と豊かな生活の実現に向けて「地域密着型金融」を深化させるためにも、①専門知識・ノウハウの蓄積および活用を図るための人材育成・情報共有できる体制、②お客さまとの信頼関係、③信用金庫取引の原点である「顧客（法人・個人）を知る」ことの重要性に対する意識を構築するための内部研修を定期的で開催し、積極的な推進を行ってまいります。

## 令和3年度・地域密着型金融推進計画の進捗状況

項目	令和2年度の分析および評価	計画（含む目標設定）		令和3年度の進捗状況
		取組方針および目標	具体的取組策	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 創業・新事業支援				
・創業・新事業支援融資	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県信用保証協会の創業育成資金融資等の取扱実績（2年度）（新事業創出支援融資） 0件 0千円 （創業育成資金） 2件 4,200千円</li> <li>コロナ禍の影響より外部研修への役職員派遣を継続して実施できなかったが、三密を避け外部講師等により創業支援のツールの拡大および能力向上を図りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小・地域金融専門機関として創業・新事業支援の果たす役割の重要性を認識、成長段階の企業に対し、地公体・信用保証協会・地元金融機関と連携を強化し、融資を推進する。</li> <li>営業店長および融資担当者を対象に創業支援のツール拡大およびスキルアップを図るため、内外の研修に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用保証協会をはじめとする創業育成等関連融資を積極的に推進する。</li> <li>日本政策金融公庫との協調融資も積極的に推進する。</li> <li>外部研修への役職員派遣およびフィードバックによる内部勉強会を実施により、創業支援のツール拡大、スキルアップを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県信用保証協会の創業育成資金融資等の取扱実績（3年度）（新事業創出支援融資） 2件 8,500千円 （創業育成資金） 3件 9,500千円</li> <li>今年度もコロナ禍の影響より外部研修への役職員派遣を継続して実施できなかったが、三密を避け外部講師等により創業支援のツールの拡大及び能力向上を図りました。</li> </ul>
(2) 経営改善支援				
・債務者区分ランクアップのための経営改善支援の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の経営課題に応じた、助言等を実施。債務者区分の現状（2年度） 対象先 2先 ランクアップ先 0先 ランクダウン先 0先 破綻先 0先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の健全化を促進するため、債務者区分のランクアップを推進する。またランクダウン防止策として専担者を配置し、企業支援先について経営改善に取り組む。 ①企業支援先（経営環境の悪化などにより、早急に経営の立直しが求められる取引先の活性化および再生を支援し、債務者区分の引上げや不良債権発生未然防止に取り組む先。主管部署は審査部審査三担当）。</li> <li>②営業店においては、日常的・継続的な関係から得られる情報を通じて経営課題を把握・分析し、コンサルティング機能を発揮し、顧客企業の業績向上、経営安定化、事業継続に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部に経営改善支援の専担者を配置する（審査部審査三担当）。</li> <li>定期的あるいは必要に応じて面談を実施し、助言等を実施する。</li> <li>残高試算表の徴求を励行し、計画と実績の分析・管理を実施し、改善施策を提案する。</li> <li>中小企業活性化協議会等の外部支援機関の利用も検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の経営課題に応じた、助言等を実施。債務者区分の現状（3年度） 対象先 4先 ランクアップ先 0先 ランクダウン先 0先 破綻先 0先</li> </ul>
(3) 事業再生				
・中小企業活性化協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の取扱実績 0件</li> <li>既存策定先については、進捗状況およびモニタリングを実施し、管理を強化しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業活性化協議会との連携強化を図り、取引先企業の事業再生を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取引先の実態把握および情報収集に努め、活性化協議会、信用保証協会等との連携強化を図る。</li> <li>既存取組先へのモニタリングを継続して実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年度の取扱実績 0件</li> <li>既存策定先については、進捗状況およびモニタリングを実施し、管理を強化しました。</li> </ul>
(4) 事業承継				
コンサルティング業務、M&A業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も外部支援機関との協調により、事業承継・M&amp;A業務に取り組んだ。</li> <li>一部の顧客からM&amp;A業務に関する相談があり、対応を行った。</li> <li>その他専門家の紹介、M&amp;A業務に関しての事例はありませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後継者育成等を含めた経営相談、情報提供、課題抽出、経営改善指導を推進する。</li> <li>有料化した本格的なコンサルティングへの取組みは行わないが、外部専門家を紹介する。</li> <li>M&amp;A業務は、企業のニーズを聴取のうえ、業界関連会社を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値サービスの提供と取引先企業の経営相談等を実施し、業務拡大への支援を図る。</li> <li>本格的なコンサルティング業務は外部専門家を紹介する。</li> <li>取引企業のニーズ調査を行い、M&amp;A業務の有無を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も外部支援機関との協調により、事業承継・M&amp;A業務に取り組んだ。</li> <li>一部の顧客からM&amp;A業務に関する相談があり、対応を行ない成功した先もありました。</li> </ul>

令和3年度・地域密着型金融推進計画の進捗状況

項目	令和2年度の分析および評価	計画（含む目標設定）		令和3年度の進捗状況
		取組方針および目標	具体的取組策	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底				
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み				
シンジケートローンの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組実績（2年度）0件</li> <li>*地元金融機関との情報交換を緊密にし案件発掘、積極的な参加の推進を図りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元中小企業への資金供給手段として地元金融機関による組成にてシンジケートローンに取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元地銀を中心としたアレンジャーにてシンジケートローンに積極的な参加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組実績（3年度）0件</li> <li>*地元金融機関との情報交換を緊密にし案件発掘、積極的な参加の推進を図りました。</li> </ul>
無担保プロパー融資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクスプレス実行件数・金額 R3年3月末 78件 金額 418,217千円 55件 金額 173,691千円（無担保実行）</li> <li>・東日本大震災関連商品をH23年3月14日より取扱開始（融資限度額 20,000千円 金利1%（固定）） R3年3月末現在残高 8件 7,942千円</li> <li>・プロパー事業者カードローン残高 R3年3月末現在 35件 1,265,876千円 (極度額3,318,000千円)</li> <li>・ビジネスファースト、ビックカードローン残高 R3年3月末現在 85件 1,049,608千円 (極度額2,197,200千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小・地域金融専門機関として地域密着型金融推進の促進を目的として中小企業への円滑な資金提供に取組む。</li> <li>・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業への融資プログラムの整備・適用に向けた取組みを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金庫プロパー無担保融資商品「ビジネスファースト・ビック」の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクスプレス実行件数・金額 R4年3月末 68件 金額 201,299千円 52件 金額 124,241千円（無担保実行）</li> <li>・東日本大震災関連商品をH23年3月14日より取扱開始（融資限度額 20,000千円 金利1%（固定）） R4年3月末現在残高 2件 7,444千円</li> <li>・プロパー事業者カードローン残高 R4年3月末現在 42件 2,067,075千円 (極度額4,283,000千円)</li> <li>・ビジネスファースト、ビックカードローン残高 R4年3月末現在 86件 893,149千円 (極度額1,737,700千円)</li> </ul>
(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み				
目利き機能の向上をはじめとする人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度外部研修の派遣実績 全国信用金庫協会 地域における金融機関のあり方を考えるセミナー 3名派遣 東北地区信用金庫協会 貸出金管理回収/内部事務リスク管理研修 2名派遣 内部研修 法人融資開拓研修FST付 合計2回開催 38名受講 融資渉外リーダー研修 合計2回開催 26名受講 若手職員融資入門研修 合計2回開催 22名受講 事業性評価研修 合計1回開催 12名受講 産・学・官・金 地域イノベーションアドバイザー塾 1名参加 生涯のまちアドバイザー研修 2名参加 ちいきん会 合計6回開催 2名参加 SDG s 研修・セミナー 7名参加 SDG s ・E S G 検定試験合格者 15名輩出 勉強会、通信講座受講等のフォローを実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティング機能の強化。</li> <li>・地域金融、中小企業金融にかかる課題解決の支援。</li> <li>・事務管理能力の向上。</li> <li>・営業力の強化。</li> <li>・外部研修受講者による内部勉強会のフォローを実施し、職員全体の能力向上を図る。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響拡大への対応。</li> <li>・社会貢献「SDG s 宣言」に基づく推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国信用金庫協会、東北地区信用金庫協会、宮城県信用金庫協会、関連団体の外部研修へ役職員を積極的に派遣するとともに内部研修も積極的に実施する。</li> <li>・コンサルティング機能の強化や地域金融、中小企業金融にかかる課題解決の能力スキル向上を図るため通信講座も積極的に活用する。</li> <li>・ウィズ・アフターコロナ禍の厳しい経済環境下のなか、地域金融機関として地元企業等に対する経営改善支援の能力スキル向上を図るため、研修および講座を積極的に実施する。</li> <li>・「SDG s 宣言」への理解を深めるとともに「地方創生・SDG s ・E S G」を基に心の成長を図るため、研修および講座を積極的に実施する。</li> <li>・「SDG s 宣言」への理解を深めるとともに「地方創生・SDG s ・E S G」を基として心の成長を図るため、研修および講座を積極的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度各研修の派遣および資格試験の実績 全国信用金庫協会関連 21世紀金融行動原則関連セミナー計9回 19名受講 地方創生SDG s セミナー 4名受講 事業再生支援研修 12名受講 事業者を支える融資・再生実務のあり方に関するセミナー 2名受講 創業支援能力向上研修 1名受講 東北地区信用金庫協会 貸出金管理回収/内部事務リスク管理研修 2名派遣 地域密着実践研修 1名派遣 内部研修 企業再生支援研修 合計4回開催 34名受講 渉外研修 合計2回開催 38名受講 企業支援強化研修 合計1回開催 34名受講 事業性評価研修 合計4回開催 27名受講 産学官金関連 地域イノベーションアドバイザー塾 1名参加 政策研究大学院大学短期特別研修 1名参加 ちいきん会 合計1回開催 3名参加 E S G 関連セミナー 5名参加 SDG s 研修・セミナー 13名参加 事業者支援関連セミナー 10名参加 事業承継アドバイザー検定試験合格者 2名輩出 事業再生アドバイザー検定試験合格者 2名輩出 SDG s ・E S G 検定試験合格者 5名輩出 勉強会、通信講座受講等のフォローを実施しました。</li> </ul>

令和3年度・地域密着型金融推進計画の進捗状況

項目	令和2年度の分析および評価	計画（含む目標設定）		令和3年度の進捗状況
		取組方針および目標	具体的取組策	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み				
・ビジネスマッチ等の販路拡大支援への取組み	・販路拡大支援事業として、「ビジネスマッチ東北2020」については15社の出展申込がありました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者支援に向けて、自治体や商工会と連携し新たな支援方法について検討をしていく。</li> <li>アフターコロナを見据え、WEB等の活用により新たな販売展開等についても支援を行う。</li> <li>ビジネスマッチ東北2021春はリアルな商談会としてコロナ禍で貴重な商談会となることから取引先企業の販路拡大を支援するために一社でも多くの企業の参加を図る。</li> <li>自走可能な事業者支援に向けて、事業の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出展募集に向けた金庫オリジナルのパンフレット作成と活用等により「ビジネスマッチ東北2022春」出展への積極的勧誘を図った。</li> <li>中小企業庁「中小企業119専門家派遣事業」を活用し事業者支援を行った。</li> <li>信金中金「SCBふるさと応援団」を活用し仙台市へ企業版ふるさと納税として寄附を実施。仙台市が立ち上げたローカルブランド「都の杜・仙台」への参画事業者募集を支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチ東北はコロナが減少傾向にあり、17社の出展申込みがあった。数年前に参加していた企業に再度声かけを実施したことや名取市商工会と連携し、新たな出展企業から申込みがあり2社増加した。</li> <li>ミラサポ専門家派遣事業を活用し2社6回の面談を実施。</li> <li>「SCBふるさと応援団」の寄附により、仙台市と販路開拓エコシステム推進事業を創設。それに伴う「都の杜・仙台」の参画事業者を8社紹介した。</li> </ul>
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供				
P F I 事業の取組み	・実行件数・金額（2年度） 当年度の取組み実績はございません。	・地域経済の発展と地域密着型金融機関の一員として、信金中央金庫、地銀および損保等をアレンジャーとした案件に積極的に取組みを図る。	・信金中央金庫、地銀等との情報交換を緊密に行い、地域活性化に繋がる案件に対し、積極的な取組みを図る。	・実行件数・金額（3年度） 当年度の取組み実績はございません。

■経営改善支援等の取組み実績（令和3年4月～令和4年3月）

	期初 債務者数  A	うち 経営改善 支援取組 み先数 a	aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 b	aのうち期末 に債務者区分 が変化しなか った先数 c	aのうち再生 計画を策定し た先数 d	経営改善 支援取組 み率  a/A	ランク アップ率  b/A	再生計画 策定率  d/A
正 常 先 ①	1,052	0		0	0	0.0%		0.0%
要 注 意 先	うちその他 要注意先 ②	132	3	0	3	2.3%	0.0%	2.3%
	うち 要管理先 ③	5	1	0	1	20.0%	0.0%	20.0%
破 綻 懸 念 先 ④	15	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
実 質 破 綻 先 ⑤	16	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破 綻 先 ⑥	5	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	小 計 (②～⑥の計)	173	4	0	4	2.3%	0.0%	2.3%
	合 計	1,225	4	0	4	0.3%	0.0%	0.3%

- (注) ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ・経営完全支援取組み先で期中に完済した債務者は「a」に含めるものの「b」に含めない。
  - ・期首の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合には「b」に含める。
  - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
  - ・「再生計画を策定した先数d」＝「金融機関独自の再生計画策定先」